

キャンピングカー先進国の集まる国際会議で 日本のキャンピングカーに注目が集まる

■ 15 カ国 211 人の参加者を集めた世界最大のキャンピングカー会議

キャンピングカー産業の健全な発展と市場拡大を目指して、世界の有数キャンピングカー生産国が集う「世界 RV 会議」の第 2 回大会がこの 1 月 17 日から 20 日の 4 日間にかけて、米国フロリダ州のタンパで開催されました。当協会からは福島雅邦会長、海外情報担当の猪俣慶喜理事が出席し、日本のキャンピングカー産業の現状と課題や将来的展望を述べるとともに、各国の活動状況の報告を受け、グローバルな視野に立った意見交換を行いました。



福島会長（右）と 猪俣理事（左）

参加した国々は 15 カ国（6 エリア）に及び、参加者はアメリカ 112 人、カナダ 29 人、中国 25 人、オーストラリア 15 人、ドイツ 11 人、日本 3 人、南アフリカ 3 人、オランダ 2 人、スロベニア 2 人、イタリア 2 人、イギリス 2 人、ベルギー 2 人、スウェーデン 1 人、ブラジル 1 人、フランス 1 人と、総勢 211 人に達しました。

（2 ページ目へつづく）

スピーチはそれぞれのエリアごとに行われ、18日には欧州連合、日本、オーストラリアの順に行われ、19日には中国、南アフリカ共和国、北米が壇上に立って、それぞれ自国の現状を発表しました。（※図表1）

◆ 図表1 各国の基調報告者

参加国	基調報告者	役職
アメリカ	Richard Coon	President of the Recreation Vehicle Industry Association (RVIA)
欧州連合	Stéphane Cordeille	CEO of Thetford Corporation (European Caravan Federation)
日本	Keiki Inomata	Director of Overseas Information of the Japan Recreational Vehicle Association (JRVA-日本RV協会)
オーストラリア	Stuart Lamont	CEO of the Caravan, RV and Accommodation Industry of Australia Ltd (CRVA)
南アフリカ	Keith Laing	Managing Director of Jurgens Ci (Leisure Industry Manufacturers Association)
中国	Ye Shengji	Deputy Secretary general of China Association of Automobile Manufacturers (CAAM)

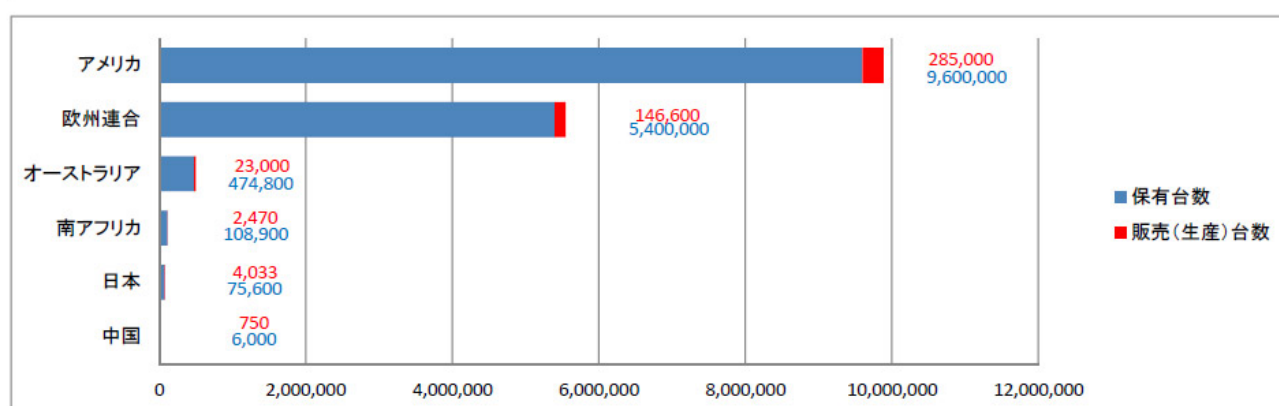
各国の基調報告のベースとなるデータは2011年および2012年のもので、欧米ではリーマンショック以来の金融危機が尾を引き、日本では震災の影響もくすぶっている時期の調査を反映したためか、4年前にデュッセルドルフで行われた第一回会議の内容と比較すると生産・販売台数ともに横ばい、ないしは微増という結果に落ち着きましたが、今後しっかりと市場分析やマーケティングを行うことで展望が大きく開けることを確認するものとなりました。

■ 日本のキャンピングカーのエコカー志向、ダウンサイジング志向に注目集まる

今回の会議で当協会は、下記のような各国（および各エリア）のキャンピングカー保有台数や販売・生産台数といった貴重なデータを入手することができました。（※図表2）

◆ 図表2 各国の統計

参加国	保有台数	販売(生産)台数	備考
アメリカ	9,600,000	285,000	2012年 出荷数
欧州連合	5,400,000	146,600	2012年 販売数
オーストラリア	474,800	23,000	2011年 生産数
南アフリカ	108,900	2,470	2011年 販売数（※除くカーゴトレーラー）
日本	75,600	4,033	2011年 出荷数
中国	6,000	750	販売数



(2013年1月 各国の発表より)

※ 南アフリカの販売台数は、トレーラーとモーターホームだけの数値ですが、同国ではほかにオフロードトレーラーという特殊なジャンルのRVが1万8,000台の生産台数を記録しています。



併催セミナーも開催

以上のような各エリアの実績に比べ、2011年の日本の総保有台数は7万5,600台。出荷台数は4,033台ですから、やはり欧米、オーストラリア、南アフリカなどと比較すると、まだまだ“発展途上国”といえそうですが、日本には軽キャンピングカーやマイクロバスをベースにしたバスコンなど、日本独自のジャンルのものがあり、各国の参加者の興味を引きました。

また、エコカーとして認知された乗用車をベースにしたキャンピングカーや軽キャンピングカーの存在などが、いま各国のビルダーが目指しているエコ志向やダウンサイジング志向に合致していると評価され、ひととき高い注目を浴びました。

さらに、道の駅に開発される「RVパーク」のような日本独自の宿泊システムや、レベルの高い商業施設を擁した高速道路の新しいSA・PAなど、キャンピングカーライフを充実させるインフラ整備の話題も参加者たちの関心を集めました。

《 イベントのお知らせ 》

■ 東京キャンピングカーショー2013 開催迫る

また、この7月6日（土）から7日（日）にかけて、今年の夏のキャンピングカーイベントを代表する「東京キャンピングカーショー2013」が開催されます。東京ビッグサイトで開催されるショーとしては今年唯一のものでありますから、ぜひお見逃しなく。

● 「東京キャンピングカーショー2013」の日程および詳細

【名 称】東京キャンピングカーショー2013

【開催日時】2013年7月6日（土）～7日（日） 10:00～17:00

【会場】東京ビッグサイト 東3ホール（東京都江東区有明3-10-1）

【主催】東京キャンピングカーショー2013 実行委員会

【特別協賛】一般社団法人 日本RV協会

【問い合わせ】東京キャンピングカーショー2013 事務局 TEL: 03-3405-1815

【HP】<http://www.campingcarshow.com/>

【入場料】[当日] 一般（高校生以上）800円 / 小人（小・中学生）300円

[前売り] 一般（高校生以上）500円 / 小人（小・中学生）200円

【出展&イベント内容】

キャンピングカーの展示・販売、キャンピングカーファン必聴のキャンピングカーセミナーや、お子様も楽しめるイベントを多数実施予定。その他、旅行情報コーナー、キャンピングカー関連商品・RVパーツ及びキャンプ用品の展示即売。

【一般社団法人 日本RV協会】

人と車と自然が一体となった豊かで潤いのある「くるま旅」を提唱し、キャンピングカーライフを日本に根付いた文化として育成・発展させるために、さまざまな活動を行っています。

【本件に関するお問い合わせは】

一般社団法人 日本RV協会（担当）矢久保

[TEL] 042-720-7911 [FAX] 042-720-7251 [Email] info@jrva.com [URL] <http://www.jrva.com/>
